

# 兵庫県保険医協会姫路・西播支部役員

(2010年8月現在・地区別・五十音順・敬称略)

## ■支部役員 (2010年7月～2012年6月)

<支部長> 1人 宗実 琴子 (姫路市)

<副支部長> 6人 池内 春樹 (姫路市)  
湯之上 茂 (姫路市)  
正木 茂博 (神崎郡)

河原 幸義 (相生市)  
清水 映二 (たつの市) 新  
高森 信岳 (たつの市) 新

<幹事> 12人 石橋 悦次 (姫路市)  
津田 賢治 (姫路市)  
綱島 武彦 (姫路市)  
西川 義規 (姫路市)  
野中 仁作 (姫路市)  
古谷 素敏 (姫路市)

宇野 千里 (たつの市)  
京 寿学 (相生市)  
長濱 通正 (相生市)  
宮崎 医津博 (赤穂市)  
白岩 一心 (赤穂郡) 新  
宮本美智子 (佐用郡)

<顧問> 1人 杉本 敏夫 (相生市)

## ■協会役員 (2009年6月～2011年5月)

<理事長> 1人 池内 春樹 (姫路市)

<理事> 5人 石橋 悦次 (姫路市)  
宗実 琴子 (姫路市)  
高森 信岳 (たつの市)  
杉本 敏夫 (相生市)

正木 茂博 (神崎郡)  
清水 映二 (たつの市)

<評議員> 7人 綱島 武彦 (姫路市)  
野中 仁作 (姫路市)  
古谷 素敏 (姫路市)  
宮本美智子 (佐用郡)

河原 幸義 (相生市)  
京 寿学 (相生市)  
宇野 千里 (たつの市)

<予備評議員> 3人 久保精一郎 (姫路市)  
上田 久志 (揖保郡)

澤田 周 (赤穂市)

<歯科評議員> 2人 津田 賢治 (姫路市)

山田 豊和 (姫路市)

# 兵庫県保険医協会 姫路・西播支部ニュース

No.165 2010年8月25日発行



発行 兵庫県保険医協会姫路・西播支部 支部長 宗実琴子  
連絡先 〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F  
兵庫県保険医協会 TEL/078-393-1807 FAX/078-393-1802

## 第25回支部総会・市民公開記念講演会

# 健康に役立つ情報 楽しく知った



(右) 市民ら48人が参加

(左) 司会をつとめた宗実支部長

姫路・西播支部は7月31日、第25回支部総会を開催し、09年度活動のまとめと10年度方針を採択し、支部役員の変更を行った。市民公開記念講演は「健康維持に役立つ運動～医師・歯科医師からのアドバイス」というテーマで、宍粟市の八家伸方先生と姫路市の津田賢治先生がそれぞれ講演し、会員・市民ら48人が参加した。

(2面に続く)

## 患者署名にご協力ください!

患者の窓口負担の軽減、後期高齢者医療制度の即時廃止を求める請願署名です。

ポスター・リーフレットとあわせて医院でご活用下さい。

追加のご注文は、TEL 078-393-1807 まで





雑誌記事などを示し適度な運動の重要性を語る八家先生



市民に語りかける津田先生

(1面続き)

支部役員の改選では、副支部長に清水映二先生、高森信岳先生(いずれもたつの市)が、幹事に白岩一心先生(赤穂郡・歯科)が新たに選出された(4面に役員一覧)。

記念講演のあいさつに立った池内春樹理事長は「署名で窓口負担軽減、後期高齢者医療制度即時廃止の意志を国会議員に伝えよう」と市民に呼びかけた。

「健康維持に必要な運動と注意点～特にマラソン・ジョギングをされる方に」というテーマで講演した八家先生は、「スポーツは勝ち負けを競うもの、運動は自分のペースでやるもの」と二つを区別する必要があるとし、自分の生理の範囲内で無理なく運動することが、健康を維持するポイントであると述べた。

津田先生は、「歯と健康とスポーツの関係」というテーマで、健康維持に果たす歯の役割を述べ「健康維持にはよく噛んで食べることが重要」と強調した上で、歯が折れた際の処置の仕方やマウスガードの役割について、クイズを交えながら

がらわかりやすく説明した。

参加者からは「大変楽しく日常生活に役立ちそうな話題でよかった」「タメになる情報を教えていただいてよかった」などの感想が寄せられ、好評を得た。

### 「国民健康保険完納ポスター」募集

## 姫路市国保課に撤回要請

協会は、姫路市が「広報ひめじ」8月号で「国民健康保険料完納ポスター」を募集したことに対し、8月10日姫路市長宛てに募集中止を求める要請文を送付した。

このポスター募集は「『助け合う』『支え合い』などをイメージする文字」を入れることを条件としているが、国民健康保険法が「助け合う」ことを目的としていたのは戦前の旧国保法であり、新法では国保法第一条で「この法律は、国民健康保険事業の健全な運営を確保し、もって社会保障及び国民保健の向上に寄与することを目的とする」と明記され、目的は社会保障となっている。

協会は、以上のことを指摘し「保険料滞納の真の原因は、払いたくても払えなくさせている国庫負担の削減にあるにもかかわらず、『助け合い』を強調して、加入者の責任を迫るようなポスターは、国の責任を免罪し、弱者に責任を転嫁するものであり、断じて許すことはできません」と、ポスター公募の中止を求めている。

なお、西播社会保障推進協議会も、抗議を行う予定をしている。

### 西播社保協・第20回総会

## 再建から1年 さらに運動進めて



寺内氏の記念講演では、国保の現状と問題点を学んだ



閉会あいさつを述べる高森先生

姫路・西播支部も加盟する西播社会保障推進協議会(西播社保協、会長:宗実琴子支部長)は7月24日、姫路自治福祉会館で第20回定期総会を開催し、68人が参加した。

自治体キャラバンなど、昨年の再建後の活動実績を活かし、西播地域の社会保障改善のための運動に加盟各団体が協力して取り組むとする方針を採択し、新役員を選出した。

宗実会長の「社会保障改悪に反撃するため、全国的に地域社保協をつくる運動がすすめられています。地域から、社会保障運動を強力にすすめることが、社会保障、国民生活改善につながります」とのメッセージが読み上げられた。

また、西播社保協幹事の高森信岳支部幹事が「私は心療内科医だが、医療の自己負担が重い。弱者に負担をかけるのはおかしい。民主党は消費税10%まで言い出している。社会保障改善のためにがんばっていきましょう」と閉会あいさつをした。

記念講演では、大阪社会保障推進協議会事務局長の寺内順子氏が「国保を再生させるために～大阪社保協の経験から～」と題して講演し、大阪府門真市で行った国保実態調査をもとに、国保の厳しい実態を示した上で、姫路市の国保の実態について分析し、「国保改善には、地元の運動が重要」と強調した。